



広報

常陸大宮



No.13

主な内容

- 常陸大宮市合併 1周年!! ②～⑧
- マル福制度改正 ⑨
- 市議会情報 ⑩～⑪
- 幼児虐待防止月間 ⑫
- 市知ってニュース ⑬～⑭
- けんこう通信 ⑱
- 暮らしの情報 ㉑



天高く 稲穂輝く 秋

今年も、たわわに実った稲穂が頭を深々と垂れ、あちらこちらの田んぼで刈り取りが行われていました。

常陸大宮市

誕生1周年!!



常陸大宮市長
矢数 浩

「常陸大宮市」が誕生して早1年。振り返りますと、あつという間の1年という感じがいたします。

この間、初代市長として市政を担ってまいりましたが、市民の皆様をはじめ多くの方々からご指導、ご支援を賜りました。あらためて衷心より感謝申し上げます。

おかげさまで、長年の懸案であり合併の最重要事業でもあった地域中核病院の整備については、名称も「常陸大宮済生会病院」と決定し、平成18年度の早期に開院できるよう現在順調に工事が進められているところ です。

さらに、市内循環交通システムについても、早期運行を

開始したいと、現在準備を進めているところでございます。これにより、市内移動の利便性向上が図られればと期待しているところです。

今年3月には、市民の皆様のご協力により市章を制定いたしました。旧町村の意識も少しずつ薄れ「常陸大宮市」という名称も予想以上に早く浸透しているような気がいたします。

地方分権と呼ばれ既に相当の年数が経過いたします。この平成の大合併により、来年3月の県内市町村の数は、合併特例法施行時に比較して約半数に減少する見込みです。

この市町村合併と合わせ、国庫補助負担金の廃止・縮減、これに伴う税源移譲、地方交付税の見直し等、いわゆる三位一体の改革が進められておりますが、この改革により、地方の裁量度を大きくする本格的な地方分権型社会を迎えようとしています。

合併により行財政基盤等の強化を図ったとは言っても、常陸大宮市のまちづくりはよくやく緒についたばかり。過疎や少子高齢化、地域産業の活性化などまだまだ課題は山積しております。

これまでは合併間もないということもあり、基本的には各地域の事業を引き継いだ形でのまちづくりを行ってまいりましたが、今後は地域の特性をさらに伸ばし、最大限に活用し、市民の皆様と手を携えてより良いまちづくりを行ってまいりたいと考えております。

また、皆様が合併して良かったと実感して頂けるまちづくりを努めてまいりる所存でございますので皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



常陸大宮市議会議長
大貫 孝夫

昨年10月16日に「常陸大宮市」が誕生して1年が経過いたします。この間、市民の皆様には市議会の活動に対しまして温かいご理解を賜り心から感謝を申し上げます。

今回の平成の大合併により県内でも各地で新市・新町が誕生していますが、今後地方分権の流れはさらに進み、全国一律から自立や個性が求められる、まさに自治体の能力が問われる時代になってまいります。この度の合併は、過疎や少子高齢化への対応、産業基盤の強化等の共通課題の解決もさることながら、このよ

うな地方分権型社会に対応できる行政組織を構築するためになされたものでございます。

合併後は、それぞれの地域の特性を活かした事業が行われ、また地域中核病院の整備等大きなプロジェクトも進められ、ある程度まちづくりの成果も見えてまいりましたが、今後は、市民と一体となつて新たな時代に対応したまちづくりを進めていくことが重要ではないかと思ひます。

また、より良いまちづくりを進めるためには、さらには皆が心をつなぐことが大切ではないかと考えます。

市議会といたしまして、今後さらに市当局との連携を深めながら市発展のために尽力してまいりる所存でございます。どうか、市民の皆様におかれましては、市政の円滑な推進につきまして格別のご協力をお願い申し上げます。

～1年を振り返って…～

市民インタビュー あなたの思い聴かせてください

10月16日で1歳の誕生日を迎える常陸大宮市。市民の皆さんに、合併1年を迎えての感想や意見などを聞いてみました。突然のお願いに快く引き受けてくださった皆さん、ありがとうございました。

また、たくさんお話ししていただいたのですが、全てを掲載できなかったことをこの場を借りてお詫びします。



合併して間もなく、私たちグループで支所巡りをしたんですが、行ってみてここまで常陸大宮市になったんだ、広いなぁと感じましたね。今まで大宮にいて山間地域だと思ったことはないんですが、あの山々を見ると自然は素晴らしいと思いつつも、いかにこの山間地域を活性化するか。

そして、この自然を守りながら森林をいかに活用するかが課題だなとつくづく思いました。

各地域でいろいろな素晴らしい催しがありますが、合併してそういった催しのご案内をいただくと市になったのだから行ってみようかしらという気になりますし、研修等の場が広がったというか、機会が多くなって良かったと思いますね。

常陸大宮市も人口が減少しています。何とか少子高齢化に歯止めをかけていかなければと思います。私たち女性会も少子化対策として月1回集まって対策を練っていますが、市にはもっと少子化や定住対策に力を入れてほしいですね。例えば山間地域に行ってみたくするような、ちょっとすてきな公園なんかを造るとかね。

すてきな施設があって、自然もあるなら住んでも良いわと思われようような市になってほしいですね。

(女性団体連絡会長 中崎 孝子さん)

合併して変わったという気はあまりしませんでした。6月に陸上記録会を笠松運動公園でやった時に、市内の19校の生徒が集まりすぎて盛大で、市になったなぁと感じました。

合併して不便に感じたことは特にありませんが、きれいな校舎で勉強がしたいです。

常陸大宮市で気に入ってるのは三太の湯。よく入りに行きます。だから、市にはこれから「常陸大宮市と言えば『温泉のまち』』と言われるような、有名な市になってほしいです。

(山方小6年 人見 彰さん)



常陸大宮市は、この雄大な自然はもちろん、5町村合併したので、5つの特産物があることがすごいと思います。こういうところはあまり無いんじゃないかな。

市になって部活などで他の中学の人と会っても親しみやすくなったので、それは良かったと思います。ただ、市の名前があまりよく知られていないみたいで、位置が分かってもらえなかったり、常陸太田市とよく間違えられるのが不便だなぁと思います。

市には、賑やかなまちになってほしいと同時に、静かなところもあって欲しい。2つがうまく共存したまちになってほしいです。

また、緑が豊かだけど、杉とか針葉樹だけでなく広葉樹も増やしたほうがいいと思う。広葉樹なら、落ち葉で土壌が豊かになって、それによってその他の生き物も元気に育つようになる。

この市には、何年経っても美しい、今よりも素晴らしいまちになってほしいです。

(美和中3年 川崎 貴司さん)



合併して、たくさんの人と触れ合えるようになって、いっぱい友だちができるようになって良かったと思います。

特に、北海道への「ふれあいの船」に参加

できるようになったので、たくさんの友だちができてとても楽しかったです。

それに、「町」だったときは、「市」に負けているようで少し恥ずかしかったけど、「市」になったことで堂々と胸を張っていられるのがうれしいです。

これから常陸大宮市には、みんな仲良く、ふれ合いがいっぱいの市になってほしいと思う。

あとは、みんなで運動のできる施設や、遊べる公園などを作ってほしいです。

(大宮小6年 齋藤 将斗さん)

合併前はいろんな困難があったけど、合併したら穏やかに自然な形で日々過ぎて、あっという間に1年たった気がします。良いとか悪い



とかではなく、違和感なく過ごせていると思いますよ。

この市には県内で数限られる川がいくつも流れて、きれいな景色を静かに満喫できる環境があります。そういった環境面が素晴らしいので、それに見合ったように文化面がさらに発展していけば良いなと思います。極端にどこかをではなく、どの地域にも平等に財源を充てて少しずつ発展して行ってほしいと思います。

現在、議員さんは75人いるようですが、それほど必要なのかという気がします。在任特例は2年間あるけど、他の自治体では、財政難のために、定数を減らそうと議会から自発的にやっていったところもあるようですし、合併当初は各地域の声を反映させるために、という事も理解はできますが、議員さんから自発的に声をあげて期間を短縮して、浮いた費用を行政当局が有効に活用するようにしたら、市民の見目が変わると思いますね。議員さん達が、いつそのことに気付くのかと楽しみにしているんですよ。

(野口 石川 皓一さん 農業)

大宮地域の会社に長く勤めていますので、合併してもあまり違和感はありませんでしたが、市の広報誌を見ると、私の住む美和以外の地域のいろいろな行事も載っていて、それを見て合併したんだなぁと感じましたね。



合併して他地域で実施していた良いサービスを受けられるようになったり、施設を利用できるようになってうれしく思います。ただ、不便だと思うのは、何か新しいことをはじめようとしても決裁は本庁でと、ワンクッション置く感じで時間がかかってしまう気がします。

この合併は、対等合併とはいっても、大宮町に吸収されたように感じている人も多いと思うんですね。ですから、やはり福祉面はもちろんのこと、すべての施策が均等に行われ、そして、みんなが常陸大宮市になって良かったと思うようなまちづくりをお願いしたいですね。

(美和保育所保護者会長 田沢 佳子さん)

町の時から市へと、あまり大きな変化はなく、そのままの状態です。ただ、いろんな行事に参加できたりとか、他の地域の人との交流が増えたので、その点は合併して良かったなと思います。

僕としては、もうすぐ大きな病院もできるし、それでも良い状態なんじゃないかと思っていますので、これ以上はあまり望むことはないです。

ただ、今、高齢化社会と言われて、常陸大宮市には若い人がいないイメージがあるし、実際、たくさんの方が県外に出て行ってしまっています。ですから、そういった人たちが出て行かない、もしくは出て行ってしまった人も戻って来なくなるような市になっていければなと思っています。



(盛金 鈴木 一敏さん 県職員)



私は、常陸大宮市で自慢なのは、大宮西小学校にある「わんぱく山」というところです。

校庭の脇の、斜面を利用した所にいろんな遊

具がたくさんあって、休み時間とか放課後とかにいつもみんなで遊んでいます。

その他にも、図書館が気に入っています。本を借りたりインターネットをしによく行きます。

市になって広がったけど移動する方法が私たちにはあまり無いので、市内を無料で乗り降りできるバスがあると、いろんな所に遊びに簡単に行けるので、そういうバスをつかってほしいです。

(大宮西小6年 吉成 ひかるさん)



市内では、テレビや映画のロケ地となって撮影が良く行われているんです。そういうところから、何かを発信できるまちになるといいんじゃないかと思えますね。

合併して、いろんな行事が、補助が無くなってできなくなってしまったものがあるんです

が、それはとても残念ですね。ただ、小さかった時は目が行き届いていたけど、大きくなって難しくなるのは仕方ないと思うんです。足りない所はボランティアなんかで補っていければ良いと思いますし。長い目で見て、合併して良かったと思えれば良いと思うんです。

私は、学童保育をボランティアでちょっとやっていたんですが、幼児期の援助はあっても、その上のフォローが意外とないんですよ。住宅を建てて若い人が来ても、子どもの面倒を見られなくて仕事を辞めたり、出て行ってしまう人もいますから。まちを活性化させるのには、何より「人」だと思います。子どもを安心して生み、育てられる環境が整えられると良いなと思います。

(諸沢 相沢 洋子さん 主婦)

市内には、工業団地やその中にある体育施設、ロゼホールなどの施設があってとても素晴らしいと思います。ロゼホールなんかは、合併前は他町の施設だからと何か入りづらい気がしていたけど、同じ市になって気持ちよく入れるようになって良かったと思っています。

1年経って、町村の区別がなくなって大きな市の中にいるという気持ちになっています。大宮に出かけても、自分の区域内を歩いているんだという気がします。市自体の雰囲気も変わってきていると思うし、市外の人も、市になって見る目が違ってきていると思いますね。

過疎の村だと先(将来)が狭まった気持ちになっていたけど、合併して先が、目の前が広がった気がします。

これから、この市には、教育に一番力を入れ、子どもたちがのびのびと、喜んで勉強したり、遊んでいる姿が見られるまちになってほしいと願っています。



(上小瀬 矢野 正紀さん 農業)



この市は自然が豊かでそれが自慢です。小さい頃からここに住んでいて、当たり前のように感じていたんだけど、かけがえ

のないもので、私たちが壊さないように守っていかなくちゃならないなと思います。

合併して、部活でできた他中学の友だちと成人式が一緒にできるので、5年後がすごく楽しみになりました。

市内には伝統的なものや歴史が深いものがたくさんあるので、そういった文化や行事などを残しつつ、交通の便を良くしたり、年齢に関係なく住みやすいまちになってほしいです。

また、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいってほしいです。一中でも、クリーン作戦や古切手を集めたりといろいろ取り組んでいます。ひとりひとりができることを、少しずつやっていけるように市も後押ししてほしいと思います。

(大宮一中3年 廣木 愛さん)

市内には歴史的な施設や、大きなイベントができる文化的な施設が充実していることが自慢ですね。特に図書館は、資料も豊富だし、いろんな催しもしていてすごいいいと思います。



合併しても、不便さは別に感じないです。出てくるとしてもあと30年後ぐらいに感じるんじゃないかなあと思いますがね。

私としては、この市はもう十分便利だと思うので、自然を大事にしてこの状態のままで開発しすぎないで欲しいです。

ただ、鷹巣には市民プールがあるけど、屋外で冬は使えなくてもったいないので、西部総合公園に移して屋内プールにして、冬はスケート場にすれば無駄がなくて良いんじゃないかと思っています。それと、合併して各地域にある施設を利用したい人がいっぱいいると思うので、施設を回るバスとかをつくと良いと思います。

最後に、小さな楽しいことがあれば十分だと思うから、職員の人も頑張るすぎないで、楽しく仕事をしてほしいと思います。

(大宮中3年 高岡 梨さん)



私の住んでいる鷺子地区で言えば、古くは水戸光圀(黄門)との縁が深いからね。何度もこの地に来て、紙役人岡山次郎左衛門宅に泊まっていますね。それと鷺子祇園祭だなあ。これは、栃木と茨城両県にまたがっている鷺子山上神社の祭り。

あとね、高級和紙の代名詞鳥ノ子紙、伝統的な鷺子彫り。今でも伝えている人がいるんですよ。そういった伝統はしっかり残しておきたいですね。特に鷺子和紙は水戸藩の財政を支えたことで知られています。鷺子のことを地元のお年寄り「とんによこ」と呼んで慕っているんですよ。

合併して特別変わったと言う気はしないです。不便さも別に感じていないです。ただ、新しい病院や、巡回バスに対してはみんなとても期待していますよ。

これからは、何より人口減少をくい止めないといけないと思うんです。全ての問題は人口からだと思えますから。人口を増やす施策を取って欲しいです。ただ、市の施策もキャッチフレーズは格好良いことってるけど、具体的な内容を示して欲しいと思いますね。

すべてトリノコサレナイヨウにね。

(鷺子 初原 智明さん 自治会長)

合併して環境的には変わらないけど、心情的には市民としての責任を感じるね。また、御前山がなくなった寂しさや郷愁を感じることもあるかな。



常陸大宮市は、市といってもまだまだ山あり川あり素晴らしい自然環境だよ。こういうものを活用しながら人口増加があって、少子高齢化に歯止めがかかればなあというのが一番の願いだね。

巡回バスなんかについては、非常に重要だと思うねえ。若い人たちは自分の車で買い物とか遠いところにも出かけられるからね。でも、高齢者の場合は、医療機関とかは既存のバスを利用しているけど、何しろ本数が少ないでしょう。大宮地域とかへ買い物となると足がないのでね。高齢者クラブのみんなとも、何とかならんかなあと言ってるんだよ。

(常陸大宮市高齢者クラブ連合会

御前山クラブ会長 渡辺 英男さん)

自然が豊かで人情味にあふれているところがこの市の良さだと思います。合併してからボランティア活動で全体で集まったときなども、よそ者という感じではなく、同じ市民なんだって感じで何となく親しみやすかったですよ。和気あいあいとしていて、そういった雰囲気が良いですよ。

だから、これからも住みよいあたたかいまちづくりをしていきたいですね。行政の方にも心が通い合える、行政に親しみが持てるようになればいいと思います。

合併したら、地域の要望は何も聞いてもらえないんじゃないか、なんていう不安がありました。区長を通して筋道たてて要望し、事業を認めていただき、特に環境整備を図ってほしいです。



(山方ボランティア連絡協議会長

尾木 よねさん)



この市では、農家の方たちの働く姿は誇るべきものだと思いますね。

合併して、市ということは何となく誇らしいし、同じ市内の

人ということで、他地域の人でも、とても身近に感じるようになって良かったと思いますね。

あとは、市内に屋内の温水プールでもできたらいいなと思います。今私たちぐらいの年代の人に水泳はとても人気がありますからね。何をするにも健康が一番ですから。

これからは、将来を左右する子どもたちへの教育の充実が大事だと思います。それと税金対策ですね。みんな心配していますから。

これからずっと孫子の代まで健康で、みんな仲良く安心して暮らせるまちであってほしいです。

(三美 中山 さち子さん 美容師)

合併して、広報誌の名前も変わり、今までは内容が御前山のことばかりだったのが、御前山の話が少なくなったので、合併したんだと感じ、少し淋しい気がします。でも、合併して大きな病院ができるのでとても安心で、良いと思います。

私は特に茨城を出たいとは思いません。ただ、若い人たちが買い物する場所がないので、洋服とかを買いに行くときは水戸とかに行ってしまう。もっとお店があったらいいかなと思います。

それに、常陸大宮市全体では、飛び抜けてこれと言えるものが無いように思います。温泉や川など要素はいろいろあるし、場所も良いと思うので、それをもっと活かして観光を活性化させていければいいのかなと思います。

あとは、駅前をもっと賑やかにできれば良いと思います。



(長倉 長山 由美子さん 専門学生)



合併して1年というのですが、もう何年も経ったような気がしますね。今までも買い物とか大宮でしていたので、違和感はなく、住所を書くときぐらいで、あとは合併したから

特に変わったと言う気もしないです。

ただ、高校とかで友だちになった、他の地域の人と一緒に成人式をあげられるのはうれしいし、合併して良かったかなと思います。

この市には自然がたくさんあって、東京に行っている友達が帰ってきて「落ち着く」とか「空気がおいしい」とよく言っています。そういう自然はやっぱり貴重だし、これからも大事にしていかなければならないと思います。

ただ、交通の不便さは感じるの、車を持っている人は良いけど、そういう人ばかりではないので、誰もがスムーズに行き来ができるシステムを作りたいと思います。

(上小瀬 栗田 寛之さん 会社員)

私は、緒川総合センターの図書館が好きで、よく行きます。やすらぎの里公園のような自然の美しさを活かした施設がもっとあるといいなと思います。

合併して、生活が特に変わったということはありません。でも、今までは防災無線でいろいろな連絡してもらえましたが、それがなくなってしまったことが不便だなと感じています。

6月の陸上記録会の時には、市内の全小学校から選手が集まりました。人数が多かったこともあって、私の好きな競技に出場できなかったことが残念でした。と同時に、そのとき、「合併」を実感しました。

緑がたくさんある常陸大宮市がこれから発展していくときに、それが十分残るように考えて、きれいな市であり続けてほしいと思います。



(小瀬小6年 岡崎 ひとみさん)



僕は、県を代表する川が2つも流れているというのがすごいことだと思うし自慢できることだと思います。

看板とかを見て、「御前山」の名前が無くなっているのを見ると

「合併したんだな」と、ちょっと寂しく感じますが、今まで交流の無かった他の中学生と会う機会が増えたので良かったと思っています。僕はテニス部だったんですが、練習や試合での交流がとても増えました。

常陸大宮市は、近代的な部分もあるし自然もたくさんあります。新しいものをつくるだけじゃなくて、歴史的な文化を大切に、自然と共存できるまちになってほしいと思います。それと、人数が少なくて部が成り立たないことがあるので、他の学校の部活に入れたり、近いところの学校に通えるようにしてほしいです。

また、豊かな自然を活かして科学館なんかをつくって、市内にある希少動植物の生態を展示したりしたらいいんじゃないかなと思います。

(御前山中3年 粕谷 太智さん)

中学生の頃に植樹とか体験していたのもあって、地元の自然が私はとても好きです。

自分の中では、合併して特に変わった気はしないんですが、市外の人から「常陸大宮市は～」というような話をされると、みんなはもう市として見ているんだなぁと実感します。また、他地域の友だちとは今まで違う町村という気持ちでいたけど、合併して仲間意識ができた気がします。

今、市では高校を卒業して県外などに出て行ってしまおう人が多いので、みんなが地元に残りたがるような市になってほしいと思います。



休みの日に、買い物だけじゃなく、地元でもっと楽しめる場所があったら、人が集まるんじゃないかと思っています。

(高部 清水 彩加さん 専門学生)

僕自身は、田舎っていうのはこの地域みたいな所だと思うし、自覚してるつもりではいます。全てを便利にとはいっても、ここは田舎だが道路もだんだん良くなってきているんだから、これを不便と思うか思わないかの差は考え次第だと思うんですね。広がって那珂川とか大きな河川の堤防沿いとかもあるけど、家ごとごっそり持っていかれるような大きな災害もなく、そういう面では安心して暮らせる場所じゃないかと思っています。

あとはやっぱり医療機関への足がしっかりすれば良いと思いますね。広いですからね。全てが最初からうまくいくのは難しいでしょうけどね。

これから、「自分たちの市」っていう気持ちになるような、市長をはじめ全体を見て、率先して引っ張っていってもらって、周りがついてくるような行政を行ってほしいと思います。

(緒川村商工会青年部長 根本 茂幸さん)



私は、大宮にあるガンマーフィールドは、もっとPRしても良いと思いますね。放射線の研究では全国でも、東海に次いで重要な放射線研究所だということですから。



常陸大宮市には、子どもと大人のふれあいのある社会になってほしいですね。将来を築いていくのは子ども達だと思うんです。ゆとりの教育とか言われて週5日制になったけど、親にはゆとりがなくて、結局親子のふれあいはなかなか無いじゃないですか。今、親から受け継ぐべき伝統とか常識とかを知らない子どもたちが増えてきているし、世間でも子どもの犯罪とかもたくさんある。何よりもまず、親とのふれあいが大事だと思うんです。親にもゆとりが持てるシステムができればいいなぁと思います。

(小祝 廣木 利江子さん 事務員)

やっと1歳になった常陸大宮市。まだまだよちよち歩きの状態です。
これから、行政と市民が力を出し合って、皆さんが望む、緑豊かな、安心して住みよいまちをつくっていきましょう。
ご協力をよろしくお願いいたします。

マル福の制度が変わります

〔平成17年11月1日実施〕

変更点はマル福の範囲 と自己負担額

医療福祉制度（マル福）とは、乳幼児、母子・父子家庭、重度心身障害者、妊産婦の方々が安心して医療を受けられるよう健康保険の自己負担部分を市と県が助成するものです。

今年の11月から県の制度改正に伴い、マル福制度の内容が変わります。主な変更点は、該当範囲が広がることと新たな自己負担の導入になります。

該当範囲については、幼児の範囲が現在の3歳未満から小学校就学前に拡大されますが、常陸大宮市ではすでに今年の4月から県の補助を受けない市単独の制度として県に先行して実施しています。

また、マル福制度全体の安定した運営のためには、負担可能と思われる程度の自己負担が必要との趣旨に基づいて、新たな自己負担額が導入されましたのでご理解をお願いします。新しい制度における自己負担の内容は下表のとおりです。



乳幼児、妊産婦には 外来自己負担が 返還されます

常陸大宮市では、少子化対策の充実に市単独制度として、乳幼児・妊産婦の外来自己負担額を受給者の皆さんに返還することになりました。

その方法としては、医療機関で一度負担していただきますが、その後、市役所で医療機関から届くマル福請求書を集計し受給者が指定している口座に振り込みます。

なお、新たに乳幼児に該当になる方（3歳以上小学校就学前の児童）には10月下旬に医療保険課から手続のお知らせをします。

また、市単独事業として御前山地域を限定して実施している老人医療費支給制度は、平成18年3月診療分をもって廃止することとなりました。

区分	該当の要件	自己負担										
乳幼児	出生の日から小学校就学前の児童	◇外来自己負担（額改定） 医療機関ごとに1日600円、月2回限度（従来は1日500円） ◇入院自己負担（新設） 医療機関ごとに1日300円、月3,000円限度 ◇入院時食事療養費（新設）										
妊産婦	妊産婦の方											
母子・父子家庭	18歳未満の児童または20歳未満の障害児及び高校在学者を監護する母親または父親とその子	<table border="1"> <tr> <td>一般の方</td> <td></td> <td>780円/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非課税世帯</td> <td>入院90日未満</td> <td>650円/日</td> </tr> <tr> <td>入院90日超</td> <td>500円/日</td> </tr> <tr> <td>70歳以上低所得 I</td> <td>300円/日</td> </tr> </table>	一般の方		780円/日	非課税世帯	入院90日未満	650円/日	入院90日超	500円/日	70歳以上低所得 I	300円/日
一般の方		780円/日										
非課税世帯	入院90日未満	650円/日										
	入院90日超	500円/日										
	70歳以上低所得 I	300円/日										
重度心身障害者	身体障害者手帳1級・2級・3級（内部疾患のみ）、療育手帳A以上もしくは障害者基礎年金1級を受けている方	◇入院時食事療養費（新設） 上の表と同額。 ただし、平成19年3月診療までは半額となります。 ※外来、入院自己負担はありません。										

受給者の皆さんへのお願い

- ◎加入している健康保険が変わったとき、または保険証の番号など内容が変わったときは必ず変更の届けをしてください。
- ◎指定してある口座を変更したいとき、または姓など名義が変わったときも必ず変更の届けをしてください。
- ◎期限の切れたマル福請求書（ピンクの用紙・ブルーの用紙）は使用しないでください。

「お問い合わせ・変更届
・マル福請求書の発行」は市役所本庁医療
保険課または各総合支
所市民課まで

夏まつりニュース



7月に引き続き8月にも、市内各地で工夫を凝らしたまつりが開催され、多くの人々が訪れ賑わいを見せていました。

御前山納涼花火大会

(8月14日 那珂川大橋周辺河川敷)

夕暮れが迫る頃には、市内の方をはじめ、お盆で帰省していた方やキャンプ客などで河原はいっぱいでした。大勢が見上げる夜空に大輪の花が咲くと、一斉に歓声があがって、観客たちは一瞬の美しさに魅入っていました。



長倉七夕まつり

(8月6日 長倉宿)

53年の歴史あるまつりで、当日は、長倉小学校児童による鼓笛隊のパレード、カラオケ大会やヨサコイ踊りなど様々な催しが行われました。

華やかな七夕飾りが並ぶ通りは、まつりを楽しむ人でいっぱいになり、花火が打ち上げられるころには、まつりも最高潮に達しました。



美和ふるさとまつり

(8月20日 美和運動公園)

会場の中央にはたくさんの提灯が飾られた巨大なやぐらが組み立てられ、ステージ上での鷺子祭囃子やマジレンジャーショーなどをはじめ、子どもみこしなど様々な催し物が行われ観客達を楽しませていました。

また、日も暮れて提灯に明かりが灯ると、あたりは幻想的な雰囲気になり、最後には花火の打ち上げで盛大に締めくくられました。



やすらぎの夏祭り

(8月7日 やすらぎの里公園河川敷)

晴れ渡った夏空の下、弥七太鼓演奏や西消防署の放水実技をはじめ、休耕田を利用したどろんこ遊び、金魚やニジマスつかみなどの楽しいイベントが盛り沢山に行われ、大人も子どもも暑さを忘れて楽しんでいました。



あゆの里まつり

(8月20日 清流公園)

夏の日差しが降り注ぐなか、会場には様々な模擬店やゲームコーナーが開かれてまつりを賑わせていました。

午前と午後2回行われたあゆのつかみ取りでは、開始前から大勢集まり、開始の合図と同時に大人から子どもまで、びしょ濡れになりながらも夢中になって捕まえていました。

夕刻にはみこしや山車も繰り出し、花火の打ち上げられる夜までまつりの賑わいは続いていました。



三世代交流「盆踊りフェスティバル」

(8月20日 東部コミュニティセンターグランド)

世喜地区内の各種団体により実行委員を結成し、市制施行記念と世代間の交流を目指して初めて開催されました。

会場に建てられたやぐらを囲んで、お年寄りから子どもまで一緒になって盆踊りを踊り、年齢性別を超えて地域の絆もいっそう深まったようです。



ながわ水まつり

(8月21日 那珂川大橋周辺河川敷)

「水と親しみ、水を楽しむ」をテーマに開催されているもので、当日は、川船乗船体験やカヌー下り体験、魚のつかみ取りなど水とふれあえるイベントが盛り沢山に行われました。

また、様々なステージショーや模擬店などもあり、子どもからお年寄りまで、さわやかな川風の中、水辺の1日を楽しんでいました。



灯ろう流しと花火の夕べ (8月21日 富岡橋下河川敷)

明るい社会づくりの会奥久慈ブロックにより開催され、明るい社会の実現を願う式典の後に行われた灯ろう流しには地元住民の方をはじめ子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、平和や先祖の霊供養、交通安全を祈願した灯ろうを流しました。

川面に映る灯ろうの明かりのなか、花火も打ち上げられ多くの人々の目を楽しませていました。



広報協力員レポート (野口 石川 皓一さん)

内古屋自治会の雷神講

野口地区(御前山地域)内の内古屋自治会では、毎年7月中旬に、野口小学校の敷地内にある祠の前で「雷神講」という行事を行っています。今年は18日に、地元の皆さんが祠に集まって地域の安全を祈願し、その後の祝宴で自治会内の親睦を深めました。

もともと、徳川烈公(斉昭)の命で開校した郷校「時雍館」で祭られていたもので、廃校になった後も地元の内古屋自治会が引き継ぎ雷神講として続けてきたそうです。

祭られているのは「八雷皇大神」という雷神で、そのおかげか、このあたりでは昔から雷の被害は聞いたことがないということです。



広報協力員レポート (三美 中山さち子さん)

三美地区・小野地区の子ども会が深めた地域の和

恒例となった三美子ども会育成会による盆踊り大会・カラオケ大会が8月14日、三美公民館広場で開催されました。今年は例年になく浴衣姿の方が多く、150人ほどの区民の協力を得て和やかな和を作ることができました。

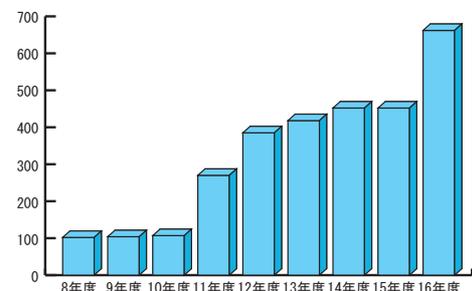
8月20日には、小野子ども会と小野地区内の若い方を中心に作られた友和会による「盆踊りとみんなの集い」が小野運動公園で催されました。会場には親睦をいっそう深めようと200人を数える区民の方が集まり、盆踊りやバーベキューなど盛り沢山の行事で賑やかに夏の夜のひとときを楽しみました。



虐待から子どもを守ろう！

～11月は「児童虐待防止推進月間」～

県内の児童相談所で受け付けた児童虐待相談件数



近年、児童虐待に関して寄せられる相談件数や死亡事例が増えています。平成15年度、全国の児童相談所に寄せられた相談件数は、26,569件で十年前の20倍に増えていきます。茨城県内の児童相談所に寄せられた児童虐待に関する相談は、平成10年度までは年間100件前後で推移していましたが、平成16年度には662件と6倍以上に増えていきます。

児童虐待問題が深刻化しています

児童虐待は、次の4つに分けられます

身体的虐待

たたく、ける、床に投げつける、夜間に戸外に閉め出す、タバコの火を押し付ける等の行為

養育の怠慢 (ネグレクト)

食事を与えない、子どもの身の回りの世話をしない、病気をしても医者にみせない、学校へ行かせず家に閉じこめる、同居人による子どもへの虐待を放置しておくこと等の行為

心理的虐待

子どもをひどい言葉で傷つける、存在を全く無視する、きょうだいと著しく差別する、子どもの目の前で夫(妻)・パートナーからの暴力が行なわれること等の行為

性的虐待

子どもへの性的行為の強要、性的暴力、性器や性交を見せる等の行為

児童虐待とは

どういうこと?

親または、親にかわる養育者など現に子どもを監護する者が、身体的暴力、性的行為の強要、不当な扱い、明らかに不適切な養育、ことばによる脅かしなどによって、子どもの心身を傷つけ、健全な成長や発達を妨げる行為をいいます。虐待された子どもは、心に深い傷を負い、大人になってもその傷に苦しみ続けることもあります。また、虐待がエスカレートすれば、時には取り返しつかない事態を招くこともあります。

家庭児童相談室

4月から、本庁福祉課子育て支援室に家庭児童相談室を開設しています。

家庭児童相談室は、子育てに迷ったとき、悩み事や心配事などを一人で抱え込んで子どもを強く怒ったりしたときなど、子どもの健やかな成長のために、あらゆる問題について相談に応じるところです。相談は、専門的な知識を持った家庭相談員が応対し、関係機関と連携して相談者と共に解決方法を見つけしていきます。

相談窓

子育て等で心配な事がありましたら、まずは電話相談でお問い合わせください。また、訪問相談や直接来所による相談も行っています。相談の秘密は守られますので、子どもや家庭内の悩みなど、お気軽にご相談ください。

市役所本庁福祉課子育て支援室内
家庭児童相談室
☎(52)1111 内線137

平日 午前8時30分～午後5時
(土・日曜、祝日は休み)

その他の相談窓

- 茨城県福祉相談センター
(中央児童相談所)
029(221)4992
- 総合保健福祉センター
健康推進課
0295(54)7121
- 大宮警察署
0295(52)0110
- 茨城虐待ホットライン
(24時間対応)
0293(22)0293
- 子どもホットライン
029(221)8181
- 教育・子育て電話相談
029(225)7830

知
市ってニュース!

このコーナーでは、常陸大宮市のさまざまな出来事や話題を紹介します。皆さんからの身近な情報をお待ちしています。どうぞお気軽に情報をお寄せください。

★情報政策課広報統計係
☎ 52-1111 (内線383)
☎ 53-6010
e-mail jousei@city.hitachiomiya.lg.jp

これからもお元気で!

敬老の日を前に、市長をはじめ三役が、100歳以上のご長寿の方を訪問し、祝い金や記念品を贈り、長寿をお祝いしました。

常陸大宮市では、平成17年9月1日で100歳以上の方は男性1名、女性15名の合計16人です。満100歳を迎えられたのは男性1人・女性7人の8人の方。最高齢は104歳の女性の方お二人です。

同時に、今年度100歳を迎えられる方には、県知事からの褒状と記念品が贈られます。蓮田キノさん(檜山)宅を、県出納長が訪れ記念品を贈りました。

皆さん、これからもどうかお体に気をつけてお過ごしください。

さらに、各地域では、それぞれご長寿の皆さんを招待してお祝いの会が催されました。

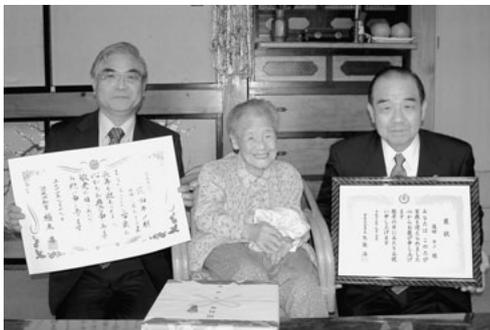
当日は、演芸等が開かれるなど、各会場それぞれ、笑顔いっぱい楽しんでいました。



▲おめかしをして市長を迎えてくださった寺門トシさん(最高齢者 若林)



▲野菜が好きでよく食べるという古徳ステさん(最高齢者 辰ノ口)



▲県出納長と市長と一緒に笑顔の蓮田キノさん(檜山)は「あんまりくよくよ考えずに笑うことが長生きの秘訣」とのこと

市内100歳以上の方々			
104歳	102歳	101歳	100歳
古徳ステさん(辰ノ口)	宮下キクノさん(上伊勢畑)	萩谷しのさん(下岩瀬) 後藤ふよさん(鷹巣) 木村はるさん(西野内) 内田ソメさん(小舟内) 古田土すてさん(野田)	増田庄一さん(山方) 小野瀬くにさん(山方) 菊池ウメノさん(諸沢) 平澤フテさん(鷲子) 平塚巳くりさん(上小瀬) 廣木よ志さん(大岩) 長山のぶさん(野口平山) 蓮田キノさん(檜山)

**永年勤続表彰を
受けられました**

篠田潤さん(78歳・下町)は、平成2年に大宮公民館長に就任し、その後合併により大宮公民館大宮分館長となり、現在に至るまで15年間の永きにわたり勤められました。このたびその功績が認められ、全国公民館連合会長より表彰されました。おめでとうございます。

大宮公民館大宮分館は、大宮地域の中心部に位置し、工夫を凝らしながら、ふるさと講座・各種の体験講座・女性学級・郷土学習サークル・フラワーふる里コミュニティ事業をはじめ、敬老会や市民運動会などの幅広く活発な地域活動を行っています。また、その活動内容を年2回発行の広報誌により紹介もしています。



▶表彰を受けた篠田潤さん

尺丈山下草刈り活動 を実施

9月4日、美和地域の尺丈山「百樹の森」づくりボランティア協議会活動として、今年2回目の下草刈りが行われました。

当日は、県内外の方合わせて43人の参加がありました。急な斜面での作業は大変で、皆さん汗を流しながら作業を行いました。



サマーキャンプ山方

8月17日から19日までの3日間、山方地域の小学生3～5年生、53人の参加により、家和楽青少年の家で「サマーキャンプ山方」を実施しました。

期間中は、ティーボールや青竹を使ってご飯を炊いたり、カヌー体験、盛金富士ハイキングなど、集団生活の中でいろいろなことにチャレンジしました。

参加した子ども達は、自然の中での体験を通じ、ひと周りたくましくなったようでした。



▶カヌー体験をする子どもたち

緒川交流ターゲットバードゴルフ大会

(緒川やすらぎの里公園TBG場)

9月4日、市教育委員会及び茨城県ターゲットバードゴルフ協会主催で開催されました。緒川地域のTBG愛好者を始め、緒川地域と交流を図っているTBG団体や個人94人が参加し、5部門に分かれて行われました。上位入賞者は次のとおりです。



一般男子の部	優勝	荻野 行広(水戸市)
	準優勝	岡部 忠伸(岩瀬町)
一般女子の部	優勝	後藤 弘子(常陸太田市)
	準優勝	江渕智恵子(日立市)
シニア男子の部	優勝	引田 弘志(日立市)
	準優勝	栃窪 一男(日立市)
	第3位	古田土宗則(日立市)
シニア女子の部	優勝	内田 勝子(常陸大宮市)
	準優勝	藤田ナミ子(岩瀬町)
	第3位	古沢スガ子(常陸大宮市)
ゴールドシニア男子の部	優勝	嶋崎 國夫(岩瀬町)
	準優勝	早川 秀秋(常陸太田市)
	第3位	内田 三男(常陸大宮市)

※一般男子、一般女子の部は参加者が少なかったため、準優勝までが表彰となりました。

スポーツ

☆順不同・敬称略

第1回市民テニス(シニア・初心者)大会

(西部総合公園テニスコート)

9月4日、市テニス連盟(菊池修平会長)主催により開催されました。

当日は、56人の参加があり、初心者の部とシニアの部に分かれて試合が行われました。

初心者の部	優勝	宇留野・角田ペア
	準優勝	岡崎・佐竹ペア
	第3位	小野瀬・高堀ペア
男子シニアの部	優勝	遠藤・紺野ペア
	準優勝	板橋・森ペア
	第3位	大和田・小余塚ペア
女子シニアの部	優勝	永井・沢島ペア
	準優勝	中島・谷田部ペア

※女子シニアの部は参加者が少なかったため、準優勝までが表彰となりました。



第1回常陸大宮市お父さんソフト・ママさんバレーボール大会

(大宮工業高校グラウンド及び体育館ほか)

市教育委員会主催により、8月28日に開催されました。
当日は、各地域を勝ち抜いてきた18チームが、それぞれの部門で熱戦を展開しました。

▽30歳以上ソフトボールの部

- 優勝 桜台インパルス
- 準優勝 西野内
- 第3位 村石
塩田

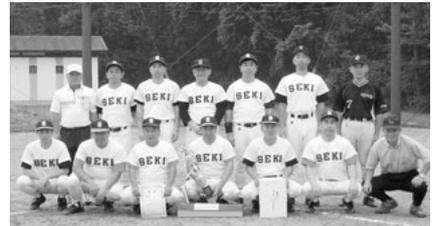


- 予選リーグ>舟生(山方) 0-3 桜台インパルス(大宮)
舟生 3-6 村石(大宮)
桜台インパルス 6-2 村石
川西(緒川) 8-9 西野内(山方)
川西 1-5 塩田(大宮)
西野内 6-1 塩田

決勝>桜台インパルス 7-1 西野内

▽40歳以上ソフトボールの部

- 優勝 世喜
- 準優勝 盛和
- 第3位 村石
山三



- 予選リーグ>村石(大宮) 2-2 盛和(山方)
村石 8-7 国長(緒川)
盛和 4-1 国長
世喜(大宮) 16-3 山三(山方)
- 決勝> 世喜 9-8 盛和

▽ママさんバレーボールの部

- 優勝 国長
- 準優勝 村石
- 第3位 プライド
大賀ディアーズ



- 予選>大賀ディアーズ(大宮) 2-0 盛和(山方)
三河戸(美和) 0-2 村石(大宮)
下町(大宮) 0-2 プライド(御前山)
- 準決勝> 国長(緒川) 2-0 大賀ディアーズ
村石 2-0 プライド
- 決勝> 国長(緒川) 2-0 村石

緒川野球大会

(緒川中グラウンド・小瀬高校野球場)

8月21日、緒川地域体育協会主催により開催されました。6チームが参加し、見事INSTANTチームが連続優勝を果たしました。

- 優勝 INSTANT
- 準優勝 カバヤドリームス



地区対抗ソフトバレーボール大会

(緒川中学校体育館他2会場)

9月8・9日、緒川地域体育協会の主催により、開催されました。

大会は25チームが参加し、8日の予選と9日の決勝に分けて行われ、両日も熱気あふれる試合が展開されました。

- 優勝 下小瀬B
- 準優勝 下郷A
- 第3位 小舟B
- 第3位 国長B



合併1周年記念 **やまがた宿芋煮会**

日時 11月20日(日)
午前11時～午後3時
場所 清流公園(山方530)

直径3.5mの大鍋で作る関東一の芋煮会。地元の食材をふんだんに使った特製の芋煮が味わえます。その他特産品販売や抽選会などイベントが盛りだくさん。

問い合わせ先 山方総合支所経済課 ☎(57)6811



合併1周年記念 **ごぜんやままつり 2005**

日時 11月12日(土)～13日(日)
午前10時～午後3時
場所 御前山総合支所敷地内
(野口3195)

地域内の団体による芸能発表や幼稚園、小中学生をはじめ一般市民の作品展示。2日目は、たくさんの模擬店が並び、ステージでの楽しいショーが行われます。

問い合わせ先
御前山総合支所市民課 ☎(55)2112



秋まつり お出かけガイド 編

いつの間にか朝晩の気温もぐっと下がり、過ごしやすくなって、いよいよ恵みの秋の到来です。今月は、11月に各地で行われるイベントをご紹介します。ぜひ、ご家族やお友だちとお出かけください。

合併1周年記念 **ふれあい広場**

日時 11月3日(木) 午前9時50分～午後3時
場所 西部総合公園グランド(工業団地25-1)

郷土芸能の発表やキャラクターショー、お楽しみ抽選会のほか、約100軒の各種団体や企業の模擬店が出店し、広い会場のあちこちで、楽しいことがたくさん待っています。

問い合わせ先
大宮町商工会
☎(53)3100



新そばまつり IN みわ

日時 11月23日(水)午前9時～
場所 みわ★ふるさと館北斗星(鷲子272)

美和地域特産のそばを使って、そば打ち体験や早食い競争などが行われます。その他、実際に参加して楽しめるイベントが盛りだくさん。

また、名人のそば打ち実演で、名人の妙技を間近でご覧になれます。

当日は、けんちんそばの無料試食もあり、目・耳・舌で楽しめるイベントです。

問い合わせ先
(株)ふるさと活性化センターみわ ☎(58)3939



緒川特産品祭

日時 11月19日(土)
午前10時～午後3時
場所 物産センター「かざぐるま」
駐車場(小舟2810-1)

選りすぐりの新鮮な特産品が並び、即売を行います。また今年初開催の「かざぐるま」そば祭も同時開催し、常陸秋そばの、香り豊かな新そばの試食なども行います。

問い合わせ先
緒川総合支所経済課 ☎(56)3993
物産センター「かざぐるま」 ☎(56)3880

ふるさと見て歩き

第6回

孝子無事衛門、節婦ヤスの墓



▶山方・常安寺入口にある大串無事衛門の墓（中央）

江戸時代、主君や親によく仕え孝養を尽くした者や夫に尽くし貞節を守った妻、農業に励み年貢上納に努めた農民など、藩や地域の領主が理想とした農民たちには、盛んに表彰が行なわれました。水戸藩も例外ではなく山方地域では二人の農民が記録に名をとどめています。

◇孝子 無事衛門、節婦 ヤス

無事衛門は十七世紀中頃、山方村に生まれ育ちました。幼少の頃から父母を敬い、その命を守り逆らうことがなく、学問に励みました。父の死後は年老いた母が快適に暮らせるよう孝養を尽くしました。季節によって寢床を変え、歩行の際には必ず付き添い、神社

仏閣や親戚へ行きたいというときは夫婦で仕事を休んで母に従い、すべて母の意に沿うように心を砕いたといいます。また盲目の兄にも父母同様に仕え、感心した村民は無事衛門に協力を惜しまなかったそうです。

同じ頃、野上村に百姓与次衛門の妻のヤスという者がいました。ヤスは舅姑によく仕え、農業にも精を出しました。与次衛門は病気になる身体が不自由となったため、ヤスに離縁して再婚を考えるよう勧めましたがヤスは反論し、一度夫婦となった上は離縁などありえず、ましてや姑を残して他へ縁付くなど考えられないこと、という強い意思を示しました。その後ヤスは事実上一家の柱となって農作業から家事一切をこなし、貞節の鑑となったと記されています。

無事衛門、ヤスともにその善行が北領巡視中の前藩主光圀の耳に入り、当

時の藩主綱條から褒美を受けることとなりしました。

江戸時代は、身分や家族関係の下位の者が上位の者を敬い、上位の者は下位の者を慈しむという儒教の教えが広められていました。二人の行いは模範的な農民像として称賛され、他の農民にも理想として示されました。

しかし一方、二人を褒め称える言葉の中には、そのような苦しい中でも「年貢を遅滞なく納めた」という旨の文言があり、孝養、貞節での表彰の前提には、苦境にも屈せず年貢を完納するという行為があり、それが重要な要素であったことが分かります。家を円満に治め相続していくことが、結果的に藩や幕府の秩序の安泰の基礎となるという思想があったことを示しています。

◇後世の評価

二人の孝子・節婦は近代に入っても度々思い起こされ、人々に強い印象を与えたようです。二家ともに断絶してしまいました。無事衛門家が断絶するのを惜しみ、一八八七(明治二十)年、当時の山方村長根本強は長女にその跡目を継がせ大串家を再興しました。また、ヤスについては、墓と推定される小塚があるだけでしたが、一九一五(大正四)年に野上青年会によつて諏訪神社(野上上町)境内に顕彰碑が建てられました。青年団

は、明治期の後半から大字や集落単位で組織され、地域に根ざした農村改良の担い手として機能しました。その一環として前代の奇特者を再評価し、農民としての修養を積み、共同体をまとめることが行なわれました。ヤスの碑はまさにその流れの中で姿を現したものでした。

これらの善行者の行跡を幕府が編さんした『官刻孝義録』には一七世紀後半以降の八、六〇〇人もの記録が残されています。残念ながら二人の記録は、それには載っていませんが、東野村、上小瀬村、野口村など市全域の農民の善行記録を見ることが出来ます。常陸国全体で、四四〇件余の記録のうち、現地域の善行者は六四件を数えます。身近なところに善行者がいたかも知れません。

このような孝行や貞節を現代の皆さんはどのように評価されますか？
(歴史民俗資料館)



▶野上・諏訪神社境内のヤスの顕彰碑

骨から元気!!

206個ほどある私たちの骨は、カラダをしっかり支え、内臓を保護する役目を持っています。その骨は硬く、石のように変化しないように見えても、常に新しい骨が作られ新陳代謝を繰り返しています。そのため、日々のカルシウムの補給がとても大切になります。

また、カルシウムは骨だけでなく血液の中にも存在し、生命維持のため重要な役割を果たしています。この血液中のカルシウムが不足すると、足りない分を補おうとして骨からカルシウムを溶かしだしてしまいます。それにより骨密度が低下し、骨にスが入ったようにもろくなって骨折しやすくなります。これが“骨粗しょう症”です。



元気な骨を作るための3つのポイント

1. カルシウムたっぷりの バランスのとれた食事

日本人のカルシウム摂取量は不足しています。バランスに気をつけながらカルシウムの摂取を意識してみましょう。

■ 1日に必要なカルシウム量は600～700mg以上といわれています。(年齢・性別により目安量は異なります。)

2. 運動

運動により骨に刺激を与えることで、カルシウムが骨に貯えられやすくなります。また、足の筋力をつけることで転倒を予防します。

3. 適度な日光浴

日光にあると、ビタミンDがカラダの中で作られます。ビタミンDは腸内でのカルシウム吸収を助けてくれます。

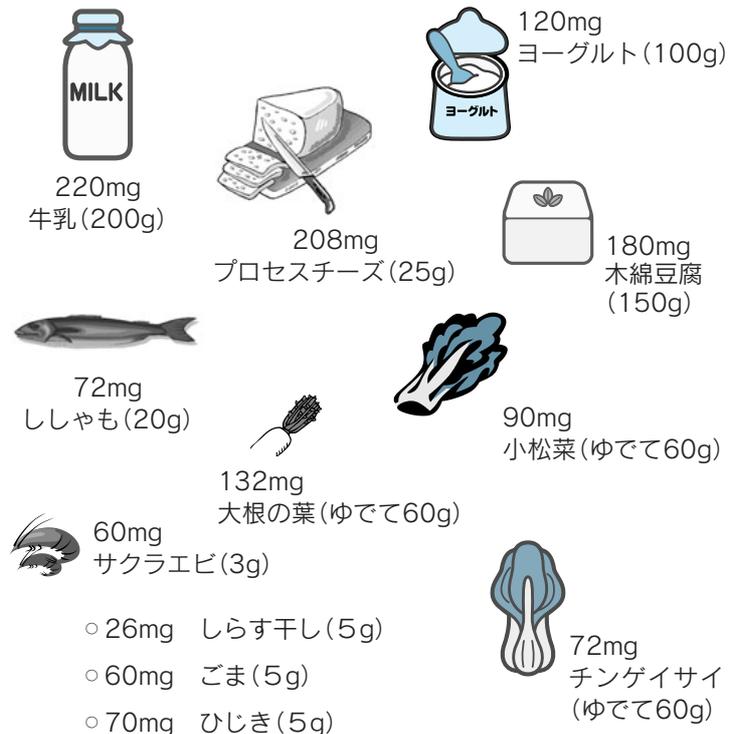
■ 夏は木陰で30分、冬は1時間程度を目安にしましょう。

骨粗しょう症検診のお知らせ

骨粗しょう症の検査方法は、かかとの骨に超音波をあてるだけの簡単な検査です。まずは自分の骨密度を測ってみましょう。

市では、総合保健福祉センター及び各総合支所において骨粗しょう症検診を行います。実施日については健康カレンダーに掲載してあります。

1食に含まれるカルシウム目安量



最近、若い人たちの骨粗しょう症予備軍が増えています。これは、無理なダイエットや偏食・インスタント食品のとりすぎなどが原因のようです。また、運動不足や喫煙等も影響しています。

骨の基礎を作る10代や、骨量が増える20～40代には、骨にしっかりカルシウムを貯蓄し元気な骨を作りましょう。



としよ じょうほうかん

☎ 53-7300



お知らせ

読み聞かせ講座受講者募集

本の選び方、声の出し方など、実習を交えた講習会を行います。

「読み聞かせ」に興味のある方、始めたい方など、ぜひご参加ください。

- 日 時 11月5日(土) 午前10時～午後3時
- 場 所 図書情報館2階視聴覚室
- 講 師 平島則子先生
- 募集人数 30名
- 受 講 料 無料
- 申込方法 図書情報館へ直接または電話で申し込んでください。



行事予定

☆第2回読み聞かせ講座

11月5日(土) 午前10時から 2階視聴覚室

☆ロゼのつどいのおはなし会

11月12日(土) 午前10時30分から 1階児童コーナー

☆めばえの会のおはなし会

11月17日(木) 午前10時30分から 1階児童コーナー

☆はみんぐばあのおはなし会

11月26日(土) 午前10時30分から 1階児童コーナー

☆子ども放送局

毎週土曜日 午前10時30分から12時
2階視聴覚室

☆読書週間 10月27日(木)～11月9日(水)

標語「本を読んでる君が好き」

図書情報館開館カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ = 休館日

〈開館時間〉 午前9時30分～午後6時

* 毎週木曜日は午後7時まで開館します。



新しく入った本

〈一般書〉

- ・「なぜ福知山線脱線事故は起こったのか」 川島 令三
- ・「恋愛の毛沢東 あこの祭り」 渡辺 淳一
- ・「七悪魔の旅」 マヌエル・ムヒカ=ライネス
- ・「スタンレーの犬」 東 直巳
- ・「2005年のロケットボーイズ」 五十嵐貴久
- ・「キップをなくして」 池澤 夏樹
- ・「東京DOLL」 石田 衣良
- ・「1303号室」 大石 圭
- ・「さよならバースデイ」 荻原 浩
- ・「モーダルな事象」 奥泉 光
- ・「波に座る男たち」 梶尾 真治
- ・「その日のまえに」 重松 清
- ・「退廃姉妹」 島田 雅彦
- ・「情夫」 藤堂志津子
- ・「逆説探偵」 鳥飼 否宇
- ・「土の中の子」 中村 文則
- ・「天使のナイフ」 薬丸 岳
- ・「プレーキ」 山田 悠介

〈児童書〉

- ・「『好き』から見つけるなりたい職業ガイドブック」
- ・「悲しい下駄」 クオンジョンセン
- ・「さいごのこいぬ」 フランク・アシュ

* その他の新刊は、図書情報館カウンターで「新しく入った本」(冊子)または、常陸大宮市のホームページをご覧ください。



今月の本棚

・「東京DOLL」 石田 衣良

愛を見失った少女、愛に飢えた少年、愛を手探りする不器用な大人たち。淋しくて、やるせなくて、逃げ出したくなるけど、やがて希望の雨がふりかかる。

・「土の中の子供」 中村 文則

私は土の中で生まれた。親はいない。暴力だけがあつた。ラジオでは戦争の情報が流れていた…。芥川賞受賞作。

御前山地域 11月の移動図書のおしらせ

10・24日



- 午前9時～9時30分 旧農協伊勢畑支所脇
 - 午前9時40分～10時10分 野口地区センター前
 - 午前10時20分～10時50分 星の宮住宅前
 - 午前11時～11時30分 上町住宅前
- ※詳しくは、教育委員会御前山事務所 (☎ 55-2116) まで。



第3区防災会が茨城県総合防災訓練を視察

常陸大宮市第3区防災会（会長 大曾根 憩）は、毎年「防災の日」を教訓に防災訓練を実施していますが、今年はそれに変わって、8月27日(土)に筑西市総合運動公園で実施された「茨城県総合防災訓練」を視察しました。

この訓練は、筑西市を震源とするマグニチュード7の地震が発生し、多くの被害が生じたことを想定し、指揮本部設置訓練、情報収集訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練、非常炊出訓練、高層建物からの救出訓練などの訓練が県内防災関係機関の協力により実施されたものです。

防災会としては、避難誘導訓練、初期消火訓練、非常炊出訓練を重点的に視察、日頃の訓練の大切さや備えがいかに大事かということを改めて痛感していました。今後の防災会の活動に反映されることでしょうか。



住宅用火災警報器の悪質訪問販売に注意！

消防法の改正に伴い、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅については平成20年6月1日から「住宅用火災警報器」の設置がすべての住宅に義務付けられます。これに便乗し、悪質な不正取引と考えられる事例が発生していますので次の点に注意してください。



警報器設置に関してのご注意

- 警報器は、今後ホームセンター等で容易に購入可能になる予定です。「消防署」では販売はしていません。
- 警報器は、個人でも容易に取り付け可能ですが、事業者等に設置を依頼する場合は、事前に見積を取り、工事内容をよく確認し、納得した上で設置を依頼しましょう。
- 警報器の訪問販売は、「特定商取引に関する法律」に基づくクーリング・オフ制度の対象で、契約後一定の期間は契約の解除が認められています。
- 悪質訪問販売と疑わしい事案に遭遇した場合は、近くの消費者センター等の窓口にご相談してください。

常陸大宮市緒川総合センター 文化ホールの予定

チケット発売日、公演時間等詳細が決まり次第お知らせします。

☎ 56-5111 FAX 56-5112

11/6 (日) 爆笑ライブ 2005

開場／13：30 開演／14：00
出演：テツandトモ、パペットマペット
マギー審司、火災報知器、
どきどきキャンプ

11/20 (日) 宗次郎コンサート
[Ocarina Wind Family]

昼・夜2回公演予定

⊕ 休日・祝日の当番医 10/23~11/27

日付	病院名(所在地)	電話番号
10/23	丹治医院(東富町)	(53)2115
	山野クリニック(栃・那須烏山市)	0287(84)3850
	青木医院(栃・茂木町)	0285(63)0323
30	高瀬医院(宇留野)	(53)2282
	阿久津医院(栃・那須烏山市)	0287(82)2170
	今井医院(栃・茂木町)	0285(63)0320
11/3	一貫堂クリニック(下町)	(54)7777
	阿久津クリニック(栃・那須烏山市)	0287(83)2021
	大兼委員(栃・茂木町)	0285(63)0036
6	小泉医院(上町)	(52)0116
	金井医院(栃・那須烏山市)	0287(83)1166
	桜井内科(栃・茂木町)	0285(63)5131
13	志村大宮病院(上町)	(53)1111
	烏山台病院(栃・那須烏山市)	0287(82)2739
	茂木中央病院(栃・茂木町)	0285(63)1151
20	岡崎外科医院(上町)	(52)0547
	高野医院(栃・那須烏山市)	0287(82)3803
	もてぎの森「メディカルプラザ」 (栃・茂木町)	0285(64)1122
23	大曾根内科小児科(栄町)	(52)0302
	滝田内科医医院(栃・那須烏山市)	0287(82)2544
	吉永医院(栃・茂木町)	0285(63)2303
27	丹治医院(東富町)	(53)2115
	星医院(栃・那須烏山市)	0287(82)2157
	青木医院(栃・茂木町)	0285(63)0323

※市内の医療機関の診療時間は午前9時から午後3時までです。県外の医療機関については個別にお問い合わせください。

※当番医のやむを得ない都合により休診となることがありますので、電話で確認してからお出かけください。



11月の納税 納期内の納税にご協力ください。

納期日：11月30日(水)

国民健康保険税(4期)、水道料、
 水利費(辰ノ口) [本庁税務課]

11・12月の窓口業務延長日

11/10・17・24、12/1・8・15・22
 (木曜日)

本庁及び総合支所では、毎週木曜日午後7時まで市民課等の窓口業務の一部を時間延長しています。 [本庁総務課]



常陸大宮市文化センターの予定

出演者の都合により、曲目、演目、その他を変更することがあります。 ☎ 53-7200 ☑ 53-7201

11/13 (日) 京都フィルハーモニー室内合奏団 「日本の歌特集」

開場/13:30
 開演/14:00

全席指定
 一般/4,000円
 高校生以下/
 1,000円



司会:渡辺徹

好評発売中

予定曲目(変更になることもあります)

宵待草(器楽)、荒城の月(ソプラノ)、夏の思い出、五木の子守唄(器楽)、ふるさと(渡辺+ソプラノ+会場全員)他

12/23 (金・祝) ロゼ・クリスマスコンサート 千住真理子・上村昇・藤井一興トリオ

超人気ヴァイオリニスト千住真理子と、チェロの第一人者上村昇、ピアノの藤井一興という気心の知れた仲間たちのトリオの楽しみ。

開場/15:30
 開演/16:00

全席指定
 一般/3,000円
 高校生以下/1,000円



好評発売中

H18 2/5(日) 第11回大宮寄席 「立川志の輔・山上兄弟」

恒例の大宮寄席。今年はテレビ等でおなじみ、立川志の輔と史上最年少のマジシャン山上兄弟が登場します。

開場/13:30 開演/14:00
 全席指定 2,000円

チケット発売日

11月5日(土)
 午前9時(窓口)午後1時(電話予約)



※チケット販売は、ロゼホールのほか9カ所で行っています。ただし、電話予約はロゼホールのみとなりますのでご注意ください。

今月の表紙

米作りをしている方々にとって、一番の喜びの時。それが刈り取りの時だと思います。

今年も8月中旬ごろから、田んぼはたくさんの実を付けた稲穂で黄金色に輝き出し、8月末辺りには稲刈りの姿を見かけるようになりました。

9月のこの日も、抜けるような青空が広がる稲刈り日和となり、市内のあちらこちらで刈り取りが行われていました。

表紙の写真は、美和地域の鷺子地区での稲刈りの様子。こちらのお宅では、東京に住むお孫さんが、休みの日に帰省して手伝っていらっしやるどころでした。



常陸大宮済生会病院 建設状況カメラ -平成17年10月1日現在-



●病院ホームページもご覧ください。
アドレス <http://www.ho-saisei.jp>

広報 常陸大宮 10月 第13号

発行日 平成17年10月15日

編集・発行

常陸大宮市総務部情報政策課

〒319-2292

茨城県常陸大宮市中富町3135-6

☎ 0295(52) 1111 ☎ 0295(53) 6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

□広報常陸大宮は、ホームページでも
ご覧になれます。

～美和地域・仲島地区～

コミュニティ助成事業を活用して 地域伝統芸能用備品を購入



美和地域・仲島地区「仲島組祭りばやし保存会」では、これまでの活動を維持し、後継者の育成と農村文化の伝承を目的として、平成17年度のコミュニティ助成事業を受けて、

屋台飾り提灯、祭神天、長胴太鼓、篠笛などの地域伝統芸能用備品を購入しました。

この助成は、財団法人自治総合センターが地域住民の行う自主的なコミュニティ活動に必要な施設・設備の整備のために助成をすることによって、地域社会の健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を行うものです。

今後、仲島地区内の小学生や中学生、高校生に伝統文化が継承され、地区のコミュニティがさらに活性化されることが期待されます。

生ゴミ堆肥勉強会を開催

8月30日、御前山市民センターにおいて、御前山地域女性団体連絡会（会長 川崎きみ江）主催による「生ゴミ堆肥」についての勉強会が行われました。

以前から伊勢畑女性会では、毎年ミラコンを自作し地域の方にお分けする活動をしており、ミラコンを混ぜ込んだ力強い土壌で作られた野菜は、とてもおいしく甘みがあると評判で、しかも環境に優しいと喜ばれていました。

そこで、よりいっそう理解を広めようと、市内の女性団体を対象に、EMアドバイザー（益子町在住）の河原弘道先生を招いて、作り方とその実例についての講話が行われました。各地区から集まった30人を超える参加者は、改めて生ゴミ堆肥のパワーを知り、自然環境の浄化に役立たせようと、真剣な表情で講話に耳を傾けていました。

※ミラコンとは、ぬかやもみ殻などと有効微生物群（EM）を混ぜ合わせて発酵させたもので、生ゴミにふりかけておくと肥料となります。



常陸大宮市の人口（9月1日現在・推計常住者）

総人口47,753人（男23,258人、女24,495人）
世帯数16,270世帯



古紙配合率100%再生紙を使用しています